

# 特集

## あなたの学びを応援します

### ◆生涯学習とは

文部科学省では、「生涯学習」は一般的に人々が生涯に行うあらゆる学習のことで、学校教育、家庭教育、社会教育、文化活動、スポーツ活動、レクリエーション活動、ボランティア活動、企業内教育、趣味など様々な場や機会において行う学習の意味で用いられています。また、人々が生涯のいつでも、自由に学習機会を選択し、学ぶことができ、その成果が適切に評価される社会として「生涯学習社会」と定義しています。

### ◆茨木市の生涯学習施策は

.....「第5次茨木市総合計画」に基づき実施.....

生涯学習の機会を増やし  
情報提供を充実する

#### 生涯学習推進体制の整備

生涯学習に取り組む市民を支援するとともに活動の充実・向上を図るため、生涯学習センターにおいて講座、きらめきホール事業を実施しています。また、個人や団体が培った知識・経験を広く還元できる場を提供し、幅広いジャンルの学習機会を展開します。

#### 生涯学習についての普及啓発の推進

広報誌・市ホームページ・生涯学習情報誌・出前講座などを通じて、様々な情報提供を行っています。

### ／ 新たな生涯学習情報を発信 ／

市、市内の国や府の機関、また市内の大学や病院などで実施されている市民の皆様が対象の「生涯学習情報」を生涯学習センターで取りまとめ、分野ごとに分類し、4か月に一度、発信することとしており、昨年12月に第1号を市ホームページに掲載しました。是非ご覧いただき、新しい学びにご参加ください。



### あなたの学びを応援します

4か月ごとに情報を更新していきます。  
みなさまに新たな出会いがありますように...



詳しくはHPをご覧ください♪

<http://www.kira.city.ibaraki.osaka.jp/jouhousi/bookindex.html>

生涯学習のすすめ  
新しいことはじめませんか

## 生涯学習を實踐中!!

「生涯学習センター きらめき」ってどんなところ?どんな人が活動をされているんだろう?ある日の生涯学習センターでの活動風景取材しました。

教室の雰囲気は講座によって様々です。アトリエでは「作家さん」たちが真剣な表情で制作に取り組んでいます。食工房では「シェフ」たちが動き回り、美味しそうな匂いが立ち込めています。「西洋美術史案内」はさしずめ学校の授業のような感じ。工芸室は木と塗料のにおいがまじった小学校の工作室のようです。多目的スタジオでの社交ダンスは打って変わって大人の雰囲気。熱心に「生涯学習」に取り組むみなさんに貴重な時間を割いていただき、お話を聞きました。



### きらめき講座「日本画」初級・中級

自分の世界を表現しようと作品に取り組む姿はまさにアーティスト

- 顔料の調合は慣れないうちは難しいですが、あれこれ工夫して自分の思う色が出せるとうれいですね。
- 絵を描いていると時間がたつのを忘れます。



### きらめき講座「元気アップ料理」

家庭でも手軽にできる料理を。  
料理作りで元気アップ!

- 今日のメニュー
- ・ふわふわ天津飯
  - ・エビのマヨネーズ和え
  - ・中華風ゴマドーナツなど



- 家庭で使えるメニューが多く、家族にも好評です。
- 子どもの手が離れたので何か始めたいと思っていました。
- 定年後、せめて料理ぐらいはできるようにと思って受講しました。
- 料理を作るのが大好き、食べるのもっと好きです。

### きらめき講座 「西洋美術史案内」

大学レベルの講義をかみ砕いてわかりやすく解説してもらえます。



- 美術展の見方が変わりました。
- 作品の意味が深くわかります。
- とても贅沢な時間をここで堪能しています。
- 定年後に仕事の分野と違うことを学ぼうと受講しています。



### 自主サークル きごころ会(木工)

~自分だけのものを作る喜び~

きらめき講座「木工講座」の修了生で活動を続けています。

- 家で必要だと思うものを作っています。
- 世界で一つしかない作品が完成した時はうれしいですね。
- 集中して打ち込むので充実感を感じます。

### 自主サークル きらめきダンスクラブ(社交ダンス)

背筋をピンと伸ばした男女が、先生の合図でステップを踏みます。



- 80歳を超えているのですが、ダンスは楽しいです。
- ワルツなどゆっくりした音楽を聴きながら体を動かすので、いいですね。
- ダンスでみんな若返っています。

### 私たち編集ボランティアは「まなびどり」の企画や取材に参加しています。

「まなびどり」編集ボランティアへの応募動機は二つありました。一つは、「書を捨てよ、町に出よう!」という寺山修司の言葉を思い出した事。もう一つは、茨木に40年あまり住んでいるが、茨木生まれではないので、生活圏内のことしか知らなかった事です。取材で茨木の多くの地域を訪れ、多くの人にインタビューすることができました。



「まなびどり」編集ボランティアの皆さん

原稿書きは苦労しましたが、プライベートでは会えないような人から話が聞けて大いに勉強になりました。ボランティア仲間にもいろんなことに造詣の深い人がいて学ぶことが多々ありました。